



【令和5年度要求額 3,400百万円（1,320百万円）】

再エネと電動車の同時導入を支援することによって、地域交通等における移動の脱炭素化を促進するとともに、ライフスタイルの変革を目指します。

## 1. 事業目的

- EV等は動く蓄電池として地域再エネの需要調整に資するほか、災害時は非常電源としての活用も期待できることから、地域における再エネの導入とともに、カーシェア、地域交通、物流網の電動化を支援し、（1）移動・物流の脱炭素化、（2）シェアリング・エコノミーの拡大、（3）ライフスタイルの変革を目指す。
- 新たに導入する電動車の支援だけでなく、需要サイドに対する電動車購入インセンティブ向上を目指し、電動車購入促進に係る仕組みを検討する。

## 2. 事業内容

### （1）再エネ×電動車を活用した地域交通等脱炭素化促進事業（一部 国土交通省 連携事業）

- ①地域交通等のグリーン化に向けたEV等普及促進事業
- ②EV等活用マスタープラン策定支援事業

### （2）バッテリー交換式EVとバッテリーステーション活用による地域貢献型脱炭素物流等構築事業（一部 経済産業省 連携事業）

- ①バッテリー交換式EV開発及び再エネ活用の組み合わせによるセクターカップリング実証事業
- ②バッテリー交換式EV×再エネ活用セクターカップリング型ビジネスモデル検討（マスタープラン策定）事業
- ③地域貢献型脱炭素物流モデル構築支援事業

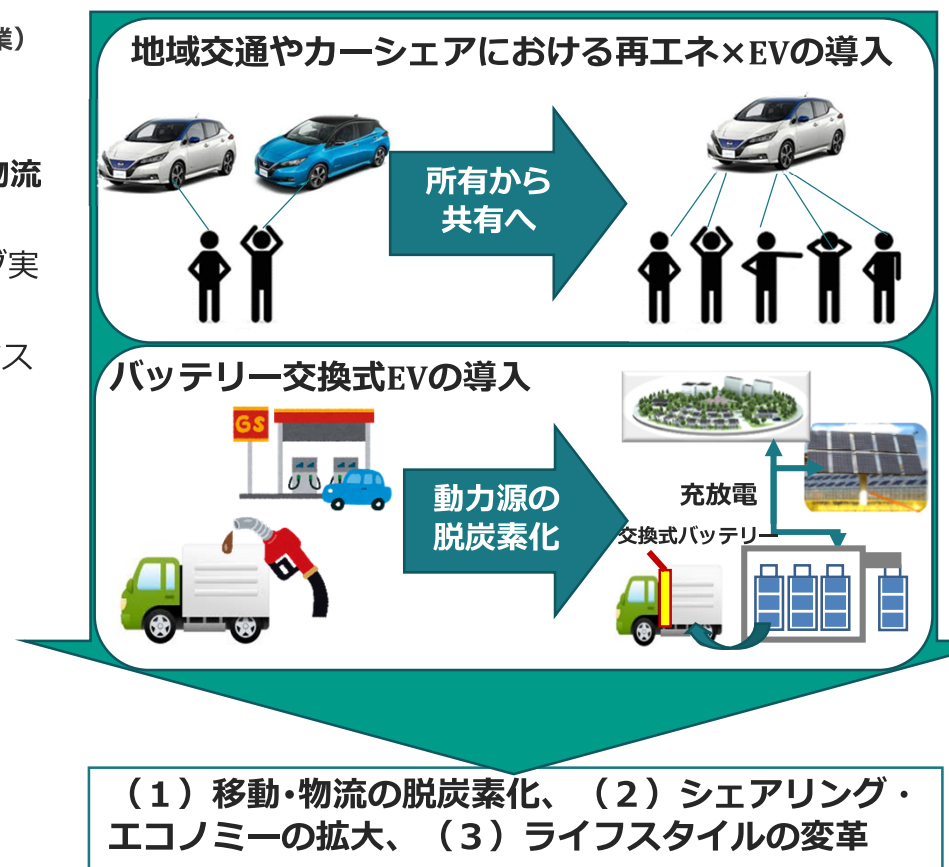
### （3）ビッグデータを活用したゼロカーボン・ドライブ等強化促進事業

- ①ビッグデータを活用したゼロカーボン・ドライブ等強化促進事業
- ②ゼロカーボンライフ/ワークスタイルモデル事業取組状況評価・検証事業

## 3. 事業スキーム

- 事業形態 委託、間接補助事業
- 委託先及び補助対象 地方公共団体、民間事業者・団体等  
 (1) 令和5年度～令和9年度  
 (2) 令和2年度～令和6年度  
 (3) ①令和3年度～令和5年度  
 ②令和4年度～令和7年度
- 実施期間

## 4. 事業イメージ



# 地域・くらしの脱炭素型交通等モデル構築加速化事業（一部国土交通省、経済産業省連携事業）のうち （1）再エネ×電動車を活用した地域交通等脱炭素化促進事業（国土交通省連携事業）



再エネと同時にカーシェアや地域交通にEV等を導入し、シェアリングエコノミーや地域住民の移動手段確保、地域のレジリエンス強化を同時に促進します。

## 1. 事業目的

- カーシェアやレンタカー等の多数でシェアリングする車両や、地域交通や物流網を担っている車両を電動化するとともに、再エネ設備をセットで導入することによって、移動の脱炭素化を図るとともに、所有から共有の移行を促進し循環経済の実現を目指す。
- 電動車は再エネ設備の発電電力量の需給調整としての機能などの「動く蓄電池」としての活用や、災害時の非常用電源としての役割が期待される。

## 2. 事業内容

### ①地域交通等のグリーン化に向けたEV等普及促進事業

カーシェアやレンタカー等の多数でシェアリングする車両、地域交通や物流網を担っている車両等（※）について、EV等を新規導入し、同時に再エネを活用する取組を支援。また、公共施設等の災害拠点化による地域のレジリエンス強化を目指し、充放電設備/外部給電器の導入についても同時に支援。加えて、地域の充電インフラ拡充を目的にオプションにて急速充電器等の導入も支援。

（※）トラック、バス、タクシー

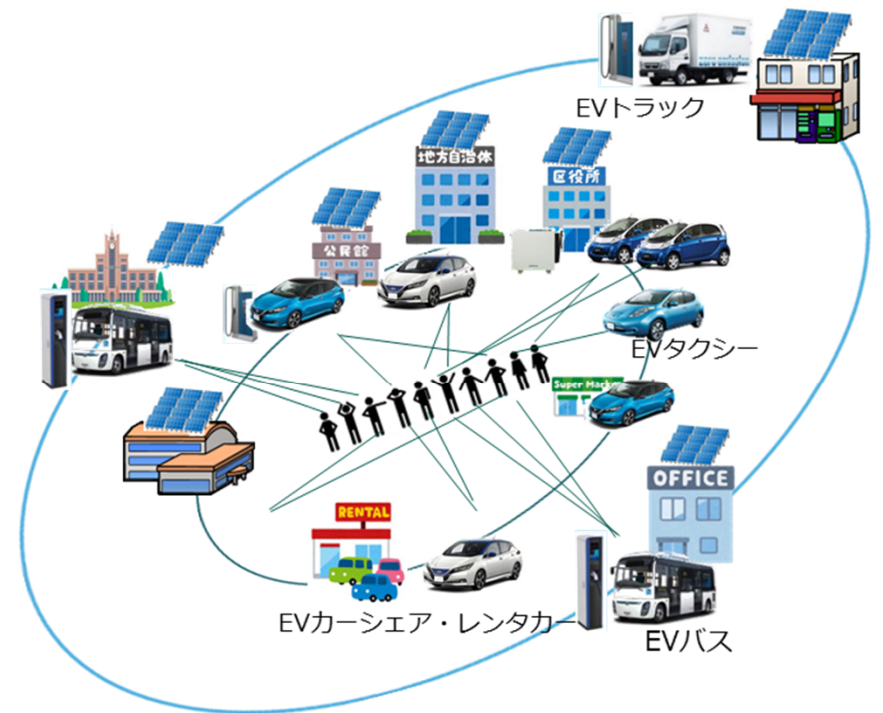
### ②EV等活用マスタープラン策定支援事業

①のメニュー活用を前提としたマスタープランの策定を支援。

## 3. 事業スキーム

- 事業形態 間接補助事業（1/2、1/3、1/4、定額等 ※一部上限あり）
- 補助対象 民間事業者・団体、地方公共団体等
- 実施期間 令和5年度～令和9年度

## 4. 事業イメージ





配送需要増加対応、防災性向上、地域資源である再エネの有効活用等を同時解決する地域貢献型脱炭素物流モデルの構築を図ります。

### 1. 事業目的

- ・ 中小型トラック等地域の足であるモビリティ等、各用途に応じた車種に対してバッテリー交換式EV化開発/実証支援を行い、地域の脱炭素化×防災モデルの構築を目指す。
- ・ 地域の再生可能エネルギーを活用した脱炭素型物流モデル構築と物流拠点等の防災拠点化の同時実現を図るとともに、地域エネルギーのストレージインフラとしてバッテリーステーションを活用することで、モビリティ×エネルギーのセクターカップリング型ビジネスモデルの構築を目指す。
- ・ 新型コロナウイルスの影響により需要が増大している宅配分野における脱炭素化を加速させる。

### 2. 事業内容

#### ①バッテリー交換式EV開発及び再エネ活用の組み合わせによるセクターカップリング実証事業・・・委託

バッテリー交換式EVの特性を活かせるユースケース毎（中小型トラック等）に開発支援及び実証事業を実施。

#### ②バッテリー交換式EV×再エネ活用セクターカップリング型ビジネスモデル検討（マスタープラン策定）事業・・・補助（補助率3/4）

バッテリー交換式EVを活用し、再エネを活用したセクターカップリング型ビジネスモデルの検討（マスタープラン策定）を支援。

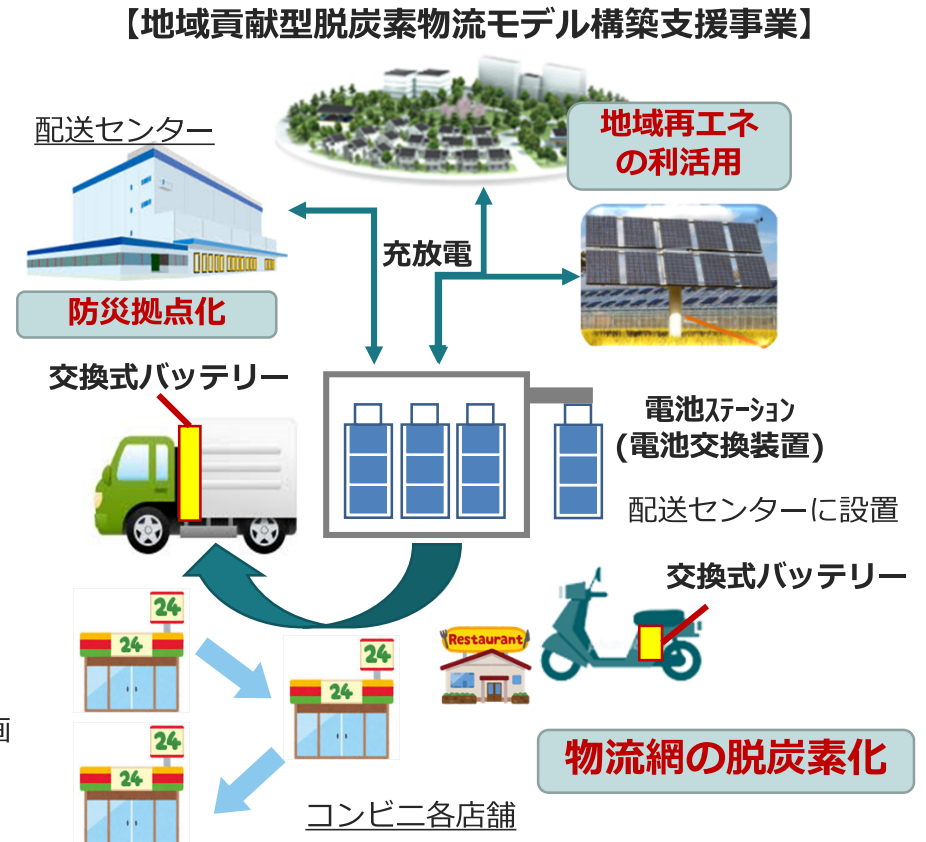
#### ③地域貢献型脱炭素物流モデル構築支援事業・・・補助（補助率1/2）

荷物宅配やフードデリバリー等のラストワンマイル配送等において、バッテリー交換式EVを導入し、再エネを活用しながら物流・配送拠点等をバッテリーステーション化し、地域の脱炭素化と防災性向上に資する新たな物流モデルの構築を支援。

### 3. 事業スキーム

- 事業形態 ①委託、②③間接補助事業（3/4、1/2）
- 委託先及び補助対象 地方公共団体、民間事業者・団体（③については地域防災計画又は地方公共団体との防災に関する協定等必須）
- 実施期間 令和2年度～令和6年度

### 4. 事業イメージ





# (3) ビッグデータを活用したエコドライブ及びゼロカーボン・ドライブ強化促進事業



電動車について実走行時の環境負荷を可視化しビッグデータ活用によりエコドライブ等の強化を図ります。

## 1. 事業目的

- ① 市中の次世代自動車等の使用過程車について、その実燃費等を検証するとともに、次世代自動車等におけるモード燃費との乖離を生む原因を特定し、ステークホルダーとの協力を通じてそれらの解決に役立つビッグデータを整理する。オープンビッグデータを活用したアプリ、ツール、システム等について公募を通じてアイデアを募り、優秀な提案については、実際に社会実装した際のCO2削減効果を実証する。
- ② 電気自動車等と再エネ電力をセットで導入している家庭及び事業者において、引き続き再エネ電力が調達され、それらによって電気自動車が運用されていることを確認する。申請者の電気自動車等の活用状況や消費電力量を調査・分析することにより、移動の脱炭素化に向けた課題を把握する。

## 2. 事業内容

### ① ビッグデータを活用した次世代自動車等のエコドライブ等強化促進事業

- ・ 乗用車の実走行燃費がモード燃費よりも下回る原因の一つに運転方法があり、エコドライブ等のソフト的取組により乖離を縮小が出来る。
- ・ メーカー等の様々なステークホルダーとの協力によって得られたビッグデータを整理し、実際に次世代自動車等における実燃費等とモード燃費等との乖離を縮小できるような、システム等を検討・実証する。
- ・ 併せて、使用過程車がスムーズに電動車へ転換できるよう、購入インセンティブが向上する施策の検討・実証を実施する。

### ② ゼロカーボンライフ/ワークスタイルモデル事業取組状況評価・検証事業

電気自動車や燃料電池自動車等と、再エネ電力や充放電設備をセットで導入する先導的取組を支援するモデル事業について、補助要件となっている再エネ電力調達のフォローアップ調査、及び電気自動車や消費電力量の推移について、モニタリング調査を実施するとともに、調査結果を分析し、ゼロカーボン・ドライブの実践・普及拡大に向けた課題抽出等を実施する。

## 3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業
- 委託先 民間事業者・団体等
- 実施期間
  - ① 令和3年度～令和5年度
  - ② 令和4年度～令和7年度

## 4. 事業イメージ

### (1) ビッグデータを活用した次世代自動車等のエコドライブ等強化促進事業

- ・ モード燃費と実燃費の乖離具合の可視化
- ・ エコドライブによる実燃費改善率の推計
- ・ オープンビッグデータセットの整理 等



※保有モード燃費は、政府が規定する燃費測定モードであり、車種間での燃費値を比較可能とするため、一定のユーザーの自動車使用環境に応じた走行パターンを定めて測定した燃費値となる。

### (2) ゼロカーボンライフ/ワークスタイルモデル事業取組状況評価・検証等事業

令和2年第3次補正予算事業

EV/PHEV/FCV  
※下記要件を満たす場合

(オプション)  
充放電設備  
外部給電

要件①  
家庭/事務所等の電力を再エネ  
100%電力調達とした場合に限る。

要件②  
モニター参画に必要なデータの提供が  
可能であること。(HEMS/BEMS等  
の導入等)

- ・ 要件の達成状況についてフォローアップ
- ・ 電気自動車・電力の使用状況を調査
- ・ ゼロドラの実践・普及拡大の課題抽出